

新発田市青少年宿泊施設

あかたにの家の家

学習プログラム

新発田市教育委員会

目 次

○はじめに	1
○個別プログラム一覧表	2
○学習プログラム展開例	5
○課題解決型プログラム	
防災キャンプ“生き抜く力を育む”	11
防災学習“災害について学ぶ”	12
○野外活動プログラム	
臼ヶ森山登山	13
川泳ぎ	14
沢登り	15
オリエンテーリング（ショート）	16
オリエンテーリング（ロング）	17
ナイトハイキング	18
キャンプファイア	19
雪遊び	20
○スポーツ・レクリエーション活動プログラム	
インドアアスレチック	21
キャンドルファイア	22
大将陣場の戦い（屋内）	23
すもう大会（屋内）	24
どんづき祭りすもう（屋外）	25
前向き合戦（屋外）	26
○創作活動プログラム	
押し花	27
壁飾り	28
ストーンペインティング	29
○文化・学習活動プログラム	
比べてみよう！川の上流と下流	30
比べてみよう！私の地域と赤谷地域（春）	31
比べてみよう！私の地域と赤谷地域（秋）	32
赤谷の歴史や史跡めぐり	33
赤谷の郷土料理「やろもち」（野郎餅）を食べよう	34
昔の道具をさがそう	35
○周辺施設活用プログラム	
ダムのはたらきを調べよう	36
「滝谷森林公園」で新発田の自然を満喫	37
○「あかたにの家」周辺マップ	38



はじめに

都市化、少子化、電子メディアの普及、地域とのつながりの希薄化といった社会の変化などにより、体験の場が減少している傾向にあります。体験活動は教育効果が高く、幼少期から青年期まで多くの人と関わりながら体験を積み重ねることにより、「社会を生き抜く力」として必要となる基礎的な能力を養うという効果があります。社会で求められているコミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力等を育むためには、様々な体験活動が不可欠です。

また、中央教育審議会答申（H25. 1 月）において、次のように示されています。

「全国学力・学習状況調査においては、自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある児童生徒の方が、理科の平均正答率が高く、自然の中での集団宿泊活動を長い日数行った小学校の方が、国語・算数の主に『活用』に関する問題の平均正答率が高い傾向が見られた。」「東日本大震災では、多くの被災者の方々が、長い間、避難所となった学校の体育館等での共同生活を送る事態となったことを踏まえ、今後、平常時から、体育館やテントでの宿泊、野外炊事といった非常時の生活を想定した体験を行う機会を設けることが必要である。」

一方、「時数確保」は学校の大きな課題となっています。集団宿泊体験活動については、そのねらいに応じ、教科や道徳等のねらいと関連付けて教育課程上の位置付けを考える必要があります。

これらを踏まえ、本書は、特に次の点に配慮して作成しました。


- 可能な限り、施設周辺の自然や施設、地域の人材を活用した活動を組み入れた。
- 体験的な防災教育を推進するため、非常時にどのような行動をとるべきかを学ぶ活動や施設を避難所として想定した生活等の防災キャンププログラムの実践例を掲載した。
- 「時数確保」の観点から、活動と各教科等との関連を明らかにし、指導計画に明確に位置付けられるようにした。

今後、本書を御活用いただき、子どもたちの充実した体験活動の一助にしていいただければ幸いです。

最後に、本書の作成にあたり、多大な御尽力を賜りましたプログラム検討委員会委員の皆様ならびに関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成 28 年 3 月

新発田市教育委員会



個別プログラム一覧表

【課題解決型プログラム】

NO.	教科等	活動名	内容	場所	時間	対象
1	防災教育 社会徳	防災キャンプ “生き抜く力を育む”	災害の被害実態を知り、災害から生き抜く力を育む活動を体験する。 避難所体験をとおして、助け合い協力し合うことの大切さに気付く。	施設内	1泊2日	第4学年以上
2	防災教育 社会	防災学習 “災害について学ぶ”	災害の被害実態をとらえるとともに、活動をとおして避難生活を考える。	施設内	1日	第4学年以上

【野外活動プログラム】

NO.	教科等	活動名	内容	場所	時間	対象
1	特別活動	うすけもり 臼ヶ森山登山	米倉地区にある臼ヶ森山を登山し、自然に親しむ。	米倉地区	150分	第4学年以上
2	理体 科育	川泳ぎ	施設近くを流れる加治川で泳ぎながら、流れる水の力と、川の内側と外側の流れの速さの違いを感じる。	施設周辺	90分	第5学年
3	理体 科育	沢登り	加治川の上流を歩きながら、土地の変化や石の大きさなどを調べる。	施設周辺	90分	第5学年
4	特別活動 道徳	オリエンテーリング (ショート)	グループで協力して、地図上に示された課題に取り組みながら、制限時間内に活動を楽しむ。	施設周辺 (全行程約1km)	60分	第4学年以上
5	特別活動 道徳	オリエンテーリング (ロング)	グループで協力して、地図上に示された課題に取り組みながら、制限時間内に活動を楽しむ。	施設周辺 (全行程約7km)	240分	第4学年以上
6	特別活動	ナイトハイキング	夜空を見たり、動物の鳴き声、虫の音などを聞いたりしながら赤谷の夜の自然を体験する。	施設周辺	60分～ 120分	第4学年以上
7	特別活動	キャンプファイア	グラウンド中央の火を囲み、火の神秘性を感じたり、ゲームを通して学級の間関係によりよいものにしたたりする。	グラウンド	90分	第4学年以上
8	体 育	雪遊び	施設のグラウンドで雪を利用した活動で体を思いっきり動かしたり、施設周辺を散策したりして雪の自然を楽しむ。	グラウンド 施設周辺	90分	第3学年以上

【スポーツ・レクリエーション活動プログラム】

NO.	教科等	活動名	内容	場所	時間	対象
1	特別活動 体育	インドアアスレチック	グループで互いに協力しながら、さまざまな課題を克服し、学級の連帯感を高める。	体育館	90分	第4学年以上
2	特別活動	キャンドルファイア	ゲームや歌、踊りを通して学級の人間関係をよりよいものにすることができる。	体育館	90分	第4学年以上
3	体育 特別活動	大将陣場の戦い	体を使ってかかわることを通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築く。	体育館	45分 ～60分	第3学年以上
4	体育 特別活動	すもう大会	体を使ってかかわることを通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築く。	体育館	45分 ～60分	第3学年以上
5	体育 特別活動	どんづき祭り すもう	体を使ってかかわることを通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築く。	グラウンド	30分 ～45分	第3学年以上
5	体育 特別活動	前向き合戦	体を使ってかかわることを通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築く。	グラウンド	45分 ～60分	第3学年以上

【創作活動プログラム】

NO.	教科等	活動名	内容	場所	時間	対象
1	図理 工科	押し花	創作活動を通して、赤谷の自然環境と植物の特徴を理解する。	施設周辺	90分	第3学年以上
2	図 工	壁飾り	宿泊体験した赤谷地区の風景等を、輪切りにした木に描き、思い出の作品として残す。	体育館	90分	第4学年以上
3	図理 工科	ストーン ペインティング	創作活動を通して、赤谷の自然環境と上流の川の特徴を理解する。	加治川 施設内	90分～ 120分	第3学年以上

【文化・学習活動プログラム】

NO.	教科等	活動名	内容	場所	時間	対象
1	理科 特別活動	比べてみよう！ 川の上流と下流	川の環境に関する調査活動をもとに、自分たちの身の回りの環境問題やこれからの生活について考える。	施設周辺	90分～ 180分	第3学年 以上
2	理科 特別活動 食	比べてみよう！ 私の地域と 赤谷地域（春）	地域の環境に関する調査活動をもとに、自分たちの身の回りの環境問題やこれからの生活について考える。	施設周辺	90分～ 120分	第3学年 以上
3	理科 特別活動 食	比べてみよう！ 私の地域と 赤谷地域（秋）	地域の環境に関する調査活動をもとに、自分たちの身の回りの環境問題やこれからの生活について考える。	施設周辺	90分～ 120分	第3学年 以上
4	社会 総合	赤谷の歴史や 史跡めぐり	赤谷の史跡をめぐり、赤谷の歴史や会津街道の歴史を知る。	赤谷地区	120分 (スクール バス利用)	第6学年
5	特別活動 家庭科	赤谷の郷土料理 「やろもち」(野郎餅) を食べよう	赤谷の郷土料理を味わい、地域のよさや食の循環を知る。	施設内	120分	第5学年
6	社会	昔の道具をさがそう	昔の道具を探し出し、観察したり使ったりすることを通して、道具の名前や使われていた時期、用途などを知る。	施設内	90分	第3学年

【周辺施設活用プログラム】

NO.	教科等	活動名	内容	場所	時間	対象
1	社会	ダムのはたらきを調べよう	ダムの役割を取材し、ダムの内部を見学することを通して、ダムのはたらきや仕組みをとらえることができる。	内の倉 ダム	100分	第4学年
2	特別活動	「滝谷森林公園」で 新発田の自然を満喫	施設から約4km離れた「滝谷森林公園」を活用し、野外炊さんやレクリエーション活動を行う。	滝谷 森林公園	半日～ 1日	第4学年 以上

学習プログラム展開例 【日帰り】その1

- 対象 第4学年以上
- 教科等 防災教育、社会
- 時期 6月～9月

時間		活動内容
9	午前	○はじめのつどい ○オリエンテーション
10		●災害について学ぼう：DVD 視聴「新潟県の災害・中越地震・津波を知ろう」 新潟県防災教育プログラムを活用する、避難所について知る
12	昼	昼食（非常食を食べよう）：アルミ缶炊飯、缶詰、ミネラルウォーター 缶詰パン、野菜ジュース
14	午後	●救命救急体験をしよう ゲストティーチャー（消防署員）から学ぶ：救急搬送、応急処置体験等
15		●おやつ：備蓄用クラッカー ○振り返り ○おわりのつどい

学習プログラム展開例 【日帰り】その2

- 対象 第4学年以上
- 教科等 防災教育、社会、図工
- 時期 6月～9月

時間		活動内容
9	午前	○はじめのつどい ○オリエンテーション
10		●災害について学ぼう：DVD 視聴「新潟県の災害・中越地震・津波を知ろう」 新潟県防災教育プログラムを活用する、避難所について知る
12	昼	昼食（炊き出し体験をしよう）：おにぎり作り ※炊き出しボランティアを依頼
14	午後	●避難所で使える道具を作ろう LEDミニランタン作り 作品を持ち帰る
15		○振り返り ○おわりのつどい

学習プログラム展開例 【日帰り】 その3

- 対 象 第4学年以上
- 教科等 家庭科、理科、体育、社会、図工
- 時 期 6月～9月

時間	1日目		
	晴天案	雨天案	
9 10	午前	○はじめのつどい ○オリエンテーション ●野外すいさん グループに分かれてカレーライスを作る	○はじめのつどい ○オリエンテーション ●昔の道具探索ウォークラリー 施設内の昔の道具を探し、クイズを解く
12		昼食（野外すいさん）	昼食（厨房でカレー作り）
13 15	午後	●沢登り 施設付近の万才橋の下から上流までゆっくりと歩く ○振り返り ○おわりのつどい	●壁飾り 輪切りにされた木の板に、赤谷の思い出となる絵を描く ○振り返り ○おわりのつどい

学習プログラム展開例 【日帰り】 その4

- 対 象 第4学年以上
- 教科等 特別活動、家庭科、体育
- 時 期 6月～9月



時間	1日目		
	晴天案	雨天案	
9 10	午前	○はじめのつどい ○オリエンテーション ●赤谷郷土料理「やろもち」作り 赤谷の郷土料理を作って食べる 地域のよさや食の循環を知る	○はじめのつどい ○オリエンテーション ●赤谷郷土料理「やろもち」作り 赤谷の郷土料理を作って食べる 地域のよさや食の循環を知る
12		昼食（やろもちを食べる）	昼食（やろもちを食べる）
13 15	午後	●オリエンテーリング グループで施設周辺の赤谷地区ポイントを巡る ○振り返り ○おわりのつどい	●インドアアスレチック グループで協力し合いながら、ゲームをする ○振り返り ○おわりのつどい

学習プログラム展開例 【1泊2日】その1

- 対象 第4学年以上
- 教科等 防災教育、社会、道徳
- 時期 6月～9月

時間		1日目	2日目
6	早朝		○起床 ○朝のつどい、ラジオ体操
7	朝		朝食（非常食を食べよう）缶詰パン
9	午前	学校で通常授業	○リラックスタイム
10			●避難所生活でホッとしよう 構成的グループエンカウンター ゲーム、ダンス など
11			○振り返り 避難した人の思いを考える 災害について考える
12	昼	学校で給食を食べる	
14	午後	○はじめのつどい ○オリエンテーション	学校に戻り、給食を食べる
15		●災害について学ぼう DVD視聴 新潟県防災教育プログラムの活用	下校
16		●避難所体験の準備をしよう 段ボールハウス作り LEDミニランタン作り	
19	夕	夕食（非常食を食べよう）	
20		アルファ米、缶詰、ミネラルウォーター	
21	夜	●救命救急体験をしよう ゲストティーチャー（消防署員）から学ぶ、応急処置体験等	
22		○振り返り ○入浴 ●ナイトハイク ○班別ミーティング おやつ（備蓄用クラッカー） ●就寝：避難所宿泊体験	

※消防署へ署員の派遣を依頼する

学習プログラム展開例 【1泊2日】 その2

- 対 象 第4学年以上
- 教科等 理科、体育、特別活動、家庭科
- 時 期 6月～9月

時間		1日目	2日目
6	早朝		○起床 ○朝のつどい ラジオ体操
7 9	朝		朝食（食堂）
10	午前	○はじめのつどい ○オリエンテーション ●オリエンテーリング グループで施設周辺の赤谷地区ポイントを巡り、赤谷地区の名所や自然を楽しむ ○振り返り	○リラックスタイム ●赤谷郷土料理「やろもち」作り 赤谷の郷土料理を作って食べる 地域のよさや食の循環を知る ○振り返り
12	昼	昼食（食堂）	昼食（外でやろもちを食べる）
14	午後	●臼ヶ森山登山 臼ヶ森山の自然に親しむ 友達と協力してやり遂げる大切さを知る ○振り返り	○おわりのつどい
17	夕	夕食（食堂）	
19 20 22	夜	●ナイトハイキング 夜空を見たり、虫の音などを聞いたりしながら、赤谷の夜の自然を体験する。 ○振り返り ○入浴 ○班別ミーティング ○就寝	

※雨天時→大将陣場の戦い（屋内）
すもう大会（屋内）
ストーンペインティング（屋内）

学習プログラム展開例 【1泊2日】その3

- 対象 第4学年以上
- 教科等 理科、体育、特別活動、家庭科、社会
- 時期 6月～9月

時間		1日目	2日目
6	早朝		○起床 ○朝のつどい 施設周辺の散歩（室内ゲーム）
7	朝		朝食（食堂）
9	午前	○はじめのつどい ○オリエンテーション	○バスで移動
10		●滝谷森林公園で新発田の自然満喫 徒歩で滝谷森林公園へ行く 滝谷新田、滝谷地区を巡る	●内の倉ダム見学 ダム場内を見学する ダムのはたらきや仕組みを取材する
11		●野外すいさん 滝谷森林公園でカレーライス作り	○バスで施設へ戻る
12	昼	昼食（野外すいさん）	昼食（食堂）
13	午後	●レクリエーション 木製遊具を利用して遊ぶ 公園の横を流れる川で魚を釣る 森林浴をかねた散策をする	○振り返り ○おわりのつどい
15		○バスで施設へ移動 ○振り返り	
17	夕	夕食（食堂）	
19	夜	●インドアアスレチック グループで協力し合いながら、ゲームをする。	
20		○振り返り ○入浴 ○班別ミーティング	
22		○就寝	

※雨天時→押し花、壁飾り等の工作を行う（屋内）

学習プログラム展開例 【1泊2日】その4

- 対象 第4学年以上
 ○教科等 理科、家庭科、特別活動、総合
 ○時期 6月～9月

時間		1日目	2日目
6	早朝		○起床 ○朝のつどい 施設周辺の散歩(ミニオリエンテーリング)
7	朝		朝食(食堂)
9	午前	●加治川の下流の様子をバスから眺め記録する ○はじめのつどい ○オリエンテーション	●赤谷地区を調査 赤谷地区の調査活動をもとに、自分たちの身の回りの環境問題などについて考える 散策しながら、山菜を採る ●野外すいさん 採った野菜を天ぷらにして食べる
10		●野外すいさん グループに分かれてカレーライス作り	
12	昼	昼食(野外すいさん)	昼食(野外すいさん)
13	午後	●比べてみよう!川の上流と下流 施設近くの万才橋付近の加治川を調査する ・生き物や回りの様子 ・上流と下流の違いなど 新聞にまとめる	○振り返り ○おわりのつどい
17	夕	夕食(食堂)	
19	夜	●キャンプファイア 友達とグラウンド中央の火を囲み、火の神秘性や夜の静寂を感じる ○振り返り ○入浴	
21		○班別ミーティング ○就寝	
22			

※雨天時→キャンドルファイア
→ストーンペインティング

防災キャンプ “生き抜く力を育む”

【関連教科等：防災教育・社会・道徳】

- 1 対象 第4学年以上
- 2 ねらい
 - ・災害の被害実態をとらえるとともに、災害から生き抜く力を育む活動ができる。
 - ・避難所体験をとおして、助け合い協力し合う態度を養うことができる。
- 3 時間 1泊2日（1日目の午後～2日目午前）
- 4 準備 防災教育教材、非常食、毛布、段ボール、ランタン作り材料、消防署依頼 等
- 5 展開

時間	活動内容	備考
60分	○災害について学ぼう <ul style="list-style-type: none"> ・DVD視聴 「新潟県の災害・中越地震・津波を知ろう」等 ・新潟県防災教育プログラム【地震災害編】【津波災害編】活用 ・避難所について知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設探検 ↓ ・研修室 ※社会科との関連
120分	○避難所体験活動の準備をしよう ～楽しく作ろう～ <ul style="list-style-type: none"> ・段ボール壁(ハウス)作り ・LEDミニランタン作り →※持ち帰り作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館
60分	○非常食を食べよう（夕食） 【代案】①夕食を作って食べよう <ul style="list-style-type: none"> ・アルファ米 ・缶詰 ・ミネラルウォーター ②炊き出し体験をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・おにぎり作り 	<ul style="list-style-type: none"> ②炊き出しボランティア必要
60分	○救命救急を体験しよう <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー（消防署員）から学ぶ ・救急搬送体験 ・応急処置体験 ※おやつ：備蓄用クラッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署へ依頼
宿泊	○避難所宿泊を体験しよう 【好天時】◇ナイトウォーク	
30分	○非常食を食べよう（朝食） <ul style="list-style-type: none"> ・缶詰パン ・野菜ジュース 	
30分	○避難所生活でホッとしよう <ul style="list-style-type: none"> ・構成的グループエンカウンター ・ダンス ・音楽 等 	
60分	○活動を振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・避難した人の思いを考える ・災害を生き抜くために自分ができることを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ※道徳との関連

6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連

【新潟県防災教育プログラム】 中学年：「地震からの身の守り方」「津波からの逃げ方」「避難所を見学する」

【社会】 第4学年：安全なくらしとまちづくり「おそろしい地震」「地震へのそなえを調べよう」

【道徳】 中学年：主として他の人とのかかわりに関すること・生命尊重



防災学習 “災害について学ぶ”

【関連教科等：防災教育・社会】

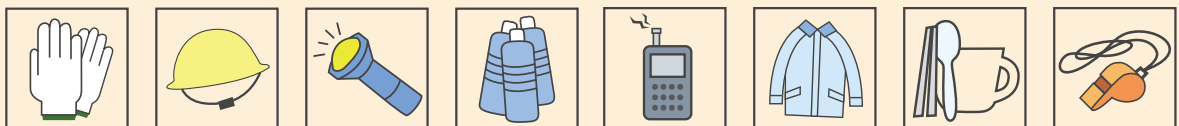
- 1 対象 第4学年以上
- 2 ねらい 災害の被害実態をとらえるとともに、避難生活を考えることができる。
- 3 時間 1日
- 4 準備 防災教育教材、アルミ缶、米、非常食、ランタン作り材料、消防署依頼 等
- 5 展開

時間	活動内容		備考
60分	○災害について学ぼう ・DVD視聴 「新潟県の災害・中越地震・津波を知ろう」等 ・新潟県防災教育プログラム【地震災害編】【津波災害編】活用 ・避難所について知る		・施設探検 ↓ ・研修室 ※社会科との関連
① 90分	① ○非常食を食べよう（昼食） ・アルミ缶炊飯 ・缶詰 ・ミネラルウォーター	② ○非常食を食べよう（昼食） ・缶詰パン ・野菜ジュース	
② 60分	<代案>炊き出し体験をしよう ・おにぎり作り		・炊き出しボランティア必要
① 60分	① ○救命救急を体験しよう ・ゲストティーチャー（消防署員）から学ぶ	② ○避難所で使える道具を作ろう ・LEDミニランタン作り ※持ち帰り作品	①消防署へ依頼
② 90分	・救急搬送体験 ・応急処置体験		
20分	※おやつ：備蓄用クラッカー		
45分	○活動を振り返ろう ・災害からの身の守り方を学び、自分ができていることを考える ・避難した人の思いを考える		

6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連

【新潟県防災教育プログラム】 中学年：「地震からの身の守り方」「津波からの逃げ方」「避難所を見学する」

【社会】 4年生：安全なくらしとまちづくり「おそろしい地震」「地震へのそなえを調べよう」



【野外活動プログラム】

うすがもり 白ヶ森山登山

【関連教科等：特別活動】

- 1 対 象 第4学年以上
- 2 ねらい 白ヶ森山の自然に親しみ、景観の素晴らしさに気付き、友達と協力してやりとげることの大切さを知ることができる。
- 3 時 間 150分
- 4 準 備 体操着の長袖、長ズボン、はき慣れた運動靴、水筒（水かお茶）、赤白帽子、熊鈴
- 5 展 開

時間	活 動 内 容	備考
15分	○白ヶ森山登山口で話を聞く ・健康観察や持ち物の確認をする ・注意事項等を聞く	
50分	○白ヶ森山登山をする ・途中休憩しながら登山する	・季節によっては猿の鳴き声が聞こえる
20分	○白ヶ森山登頂到着・休憩をする ・景色を眺めたり、季節のよさを感じたりする	・人数の確認や健康観察をする
50分	○白ヶ森山下山する ・途中休憩しながら下山する	・下り坂のため、けがのないように注意する
15分	○白ヶ森山登山口着、振り返りをする ・登山をして感じたことや気付いたことなど振り返りを行う ・振り返ったことを発表し合う	・人数の確認をする

- 6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連
【学校行事】遠足・集団宿泊的行事



【野外活動プログラム】

川泳ぎ

【関連教科等：理科・体育】

- 1 対象 第5学年
- 2 ねらい 流れる水の働きと土地の変化の関係についての考えをもつことができる。
- 3 時間 90分
- 4 準備 川遊び用のくつ、ライフジャケット、救助用の浮き輪、ロープ
- 5 展開

時間	活動内容	備考
10分	○上流の川について理解する ・上流の川の特徴について発表しよう ・川と周りの土地や石との関係を考えてみよう	・川の周囲を観察させる
10分	○準備運動を行う ・川の水は冷たいので体をよくほぐし、あたためよう	
45分	○流れの緩やかな場所、浅い場所で水につかる ・水に慣れるまでは、浅い所で活動しよう ・水生生物もいるか探してみよう ○やや深い場所に入る ・背の立たない場所には入らないようにしよう ・流れを体で感じてみよう ・水の中を自分の目で見てみよう	・深い所へは行かないよう、教師が制限する（これ以上行かないように水の中に立つ） ・10分入ったら上がって休憩5分を繰り返す
10分	○整理体操 ・岸に上がり、緊張した体の部分をストレッチ等でほぐそう ・タオルで体をしっかりと拭こう	・寒いようなら屋内に移動する
15分	○感想発表 ・水の中で感じたことをお互いに発表し合おう ・新しい発見があれば後でノートなどに記録しよう	・必要に応じてノート等を用意する

6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連

【理科】第5学年：流水の働き

【体育】第5学年：水泳



【野外活動プログラム】

沢登り

【関連教科等：理科・体育】

- 1 対象 第5学年
- 2 ねらい 流れる水の働きと土地の変化の関係についての考えをもつことができる。
- 3 時間 90分
- 4 準備 川遊び用のくつ、ライフジャケット、救助用の浮き輪、ロープ
- 5 展開

時間	活動内容	備考
10分	○上流の川について理解する ・上流の川の特徴について発表しよう ・川と周りの土地や石との関係を考えてみよう	・これから歩く川の周囲を観察させる
10分	○準備運動を行う ・川の水は冷たいので体をよくほぐし、あたためよう	
45分	○流れの緩やかな場所、水量の少ない場所（石の上）を上流に向かって歩く→戻る時間も考慮する ・水がひざ下くらいの浅い所を歩こう ・水生生物もいるか探してみよう ○上流の様子や景色、風景を観察する ・石の大きさをよく見てみよう ・川岸の様子や川幅を見てみよう ・メジャーで幅を測ってみよう ・水の中を自分の目で見てみよう	・深い所へは行かないよう、教師が制限する（これ以上行かないように指示を出す） ・スケッチブック、カメラ等を持参し記録
10分	○整理体操 ・岸に上がり、緊張した体の部分をストレッチ等でほぐそう ・タオルで足をしっかりと拭こう	・寒いようなら屋内に移動する
15分	○感想発表 ・上流の様子で感じたことをお互いに発表し合おう ・新しい発見があれば後でノートなどに記録しよう	・必要に応じてノート等を用意する

6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連

【理科】第5学年：流水の働き

【体育】第5学年：体づくり運動



【野外活動プログラム】

オリエンテーリング（ショート）

【関連教科等：特別活動・道徳】

- 1 対象 第4学年以上
- 2 ねらい グループで協力して、地図上に示された課題に取り組みながら、制限時間内に活動を楽しむことができる。
- 3 時間 60分（全行程約1km）
往路：青少年宿泊施設脇→農道→旧赤谷中学校跡地
復路：旧赤谷中学校跡地→農道→青少年宿泊施設脇
- 4 準備 リュックサック、水筒（ペットボトル可、水かお茶かスポーツドリンク）、ハンカチ、ティッシュ、タオル、ビニール袋（ゴミ入れなど）、雨具、熊鈴、時計（係の子ども）、地図、筆記用具、探検バック
- 5 展開

時間	活動内容	備考
10分	○活動内容の説明、確認をする ・グループのメンバーの確認、自己紹介をする ・持ち物やルールの確認、注意事項などの話を聞く	・地図を渡す
40分	○オリエンテーリングをする ・青少年宿泊施設脇→農道→旧赤谷中学校跡地→農道→青少年宿泊施設脇 (ポイントは、青少年宿泊施設、農道、旧赤谷中学校跡地)	・危険がないように、ポイントごとに教師が立つ
10分	○活動の振り返りをする ・ゴールした後、グループごとに感想を伝え合う ・全体でも振り返ったことを発表し合う	・どんなことでも感じたことを伝え合わせる

6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連

【学級活動】 共通事項：日常生活や学習への適応及び健康安全

【道徳】 中学年：主として他の人とのかかわりに関すること



【野外活動プログラム】

オリエンテーリング（ロング）

【関連教科等：特別活動・道徳】

- 1 対象 第4学年以上
- 2 ねらい グループで協力して、地図上に示された課題に取り組みながら、制限時間内に活動を楽しむことができる。
- 3 時間 240分（全行程約7km）
滝谷森林公園で昼食とする。
往路：青少年宿泊施設→滝谷新田→滝谷→滝谷森林公園
復路：滝谷森林公園→滝谷→滝谷新田→青少年宿泊施設
- 4 準備 リュックサック、水筒（ペットボトル可、水かお茶かスポーツドリンク）、ハンカチ、ティッシュ、タオル、敷物、ビニール袋（ゴミ入れなど）、雨具、おやつ、熊鈴、時計（係の子ども）、地図、ポイントの写真、筆記用具、探検バック
- 5 展開

時間	活動内容	備考
10分	○活動内容の説明、確認をする ・グループのメンバーの確認、自己紹介をする ・持ち物やルールの確認、注意事項などの話を聞く	・地図とポイントの写真を渡す
90分	○オリエンテーリング（前半）をする ・青少年宿泊施設→滝谷新田→滝谷→滝谷森林公園 （ポイントは、万才橋→滝谷新田ふれあい交流センター→山神社→大慶寺→河内神社→滝谷森林公園）	・危険がないように、ポイントごとには教師が立つ
30分	○滝谷森林公園で昼食・休憩をする ・昼食（弁当）を食べる	
90分	○オリエンテーリング（後半）をする ・滝谷森林公園→滝谷→滝谷新田→青少年宿泊施設 ★滝谷森林公園をゴールにして、スクールバスを利用してもよい	・ポイントを前半と後半で分けてもよい
20分	○活動の振り返りをする ・ゴールした後、グループごとに感想を伝え合う ・全体でも振り返ったことを発表し合う	・どんなことでも感じたことを伝え合わせる

6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連

【学校行事】 遠足・集団宿泊的行事

【道徳】 中学年：主として他の人とのかかわりに関すること



【野外活動プログラム】

ナイトハイキング

【関連教科等：特別活動】

- 1 対 象 第4学年以上
- 2 ねらい
 - ・夜空を見たり、動物の鳴き声、虫の音などを聞いたりしながら赤谷の夜の自然を体験することができる。
 - ・友だちと協力しながら夜の赤谷を歩くことができる。
- 3 時 間 60分～120分
- 4 準 備 懐中電灯
- 5 展 開

時間	活 動 内 容	備考
	※明るいうちにコースを下見し、安全に実施できるようにしておく	
10分	○活動説明 <ul style="list-style-type: none"> ・コース説明 ・注意事項 	・6月、7月は、ホタル観察が可能
30分 ～90分	○ナイトハイキングを体験する <ul style="list-style-type: none"> ・学校前の道路から約1kmを歩く ・グループもしくはペアで歩く ・昼と夜の感じの違いを体感し、虫の音や夜空の観察も行いながら歩く <その他のコース ※肝試しコースとして実施可能> <ul style="list-style-type: none"> ①施設周り1周コース ②中学校跡地コース ③龍泉寺・大将陣場（施設より2kmほど離れる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナイトハイキングをしながら星座観察、ホタル観察も可能 ・主要ポイントで教師が立つ
20分	○活動の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール後、グループ（ペア）で感想を伝え合う ・全体での振り返りを行う ・感想等の記入 	・自分が住む場所との違いや似ているところなどにも気付かせる

6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連

【学校行事】 共通事項： 日常の生活や学習への適応及び健康安全



【野外活動プログラム】

キャンプファイア

【関連教科等：特別活動】

- 1 対象 第4学年以上
- 2 ねらい
 - ・グラウンド中央の火を囲み、火の神秘性や夜の静寂を感じることができる。自然への畏敬の念をもつことができる。
 - ・ゲームや歌、踊りを通して学級の人間関係をよりよいものにすることができる。
- 3 時間 90分
- 4 準備 薪、トーチ、マッチ、石油、放送機器、音楽CD、水
- 5 展開

時間	活動内容	備考
15分	○セレモニアルファイア（迎え火のつどい） <ul style="list-style-type: none">・火の長、火の守（友情、奉仕、勇気、希望など）が入場・火の長より火の話があり、火の守が薪に点火する	・おごそかに神秘的に行う
45分	○ボーンファイア（交歓の集い） <ul style="list-style-type: none">・歌やフォークダンスを行って楽しむ・グループごとに出し物を行う・全員で楽しめるゲームを行う 猛獣狩り、木とリス、おんぶジャンケン など	・楽しく、交流を深めさせる ・火の調節を忘れない
15分	○セレモニアルファイア（送り火の集い） <ul style="list-style-type: none">・「今日の日はさようなら」を歌いながら火の長らを送る・全員で握手しながら退場する ○星座観察 <ul style="list-style-type: none">・天候がよければ、小さな火を中心に地面に座り、星を眺める・星座の伝説などを聞く	・静かに、一日の振り返りを行わせ、明日への希望をもたせる
15分	○振り返り <ul style="list-style-type: none">・天候がよければ外で、または屋内でグループごとに振り返りを行う・しおりに記入するのもよい	・心に残ったことを語り合わせる

- 6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連

【学級活動】 共通事項：日常の生活や学習への適応及び健康安全



【野外活動プログラム】

雪遊び

【関連教科等：体育】

- 1 対象 第3学年以上
- 2 ねらい 雪の上で体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、基本的な動きができる。
- 3 時間 90分
- 4 準備 そり、カラーコーン、的当て用の板、ドッジボール、飴玉やチョコ（袋）
- 5 展開

時間	活動内容	備考
10分	○雪遊びの準備をする ・防寒着を着用するが、中の服装は厚着にならないようにする ・汗の始末の大切さを伝える	
10分	○準備運動を行う ・雪の上を走らせ、お宝ゾーンにまいてある飴玉やチョコを拾う (途中で、食べることができる)	
45分	○雪上ゲームを行う ①雪上ドッジボール ・2チームに分け、通常のドッジボールを行う ・前半後半戦を行う時間は3分ずつくらい ※ ドッジボールの代わりに雪合戦を行ってもよい。当てたら10点時間内に何人を当てられるかで競う ②そり引きリレー ・三人一組でリレーを行う。2人がそりを引き、1人がそりに乗る的当てコーナーで、そりに乗っている人が、雪玉を的めがけて投げる。当たったら近道で次のチームに交代する ○かんじきハイキング ・かんじきをはいて、施設の周辺を散策する	・途中で休憩タイムを設け、飴玉やチョコを食べさせてもよい ・リレーは回旋方式でも周回方式でもよい
10分	○汗の始末をする ・タオルで汗をふき、着替えをする	
15分	○振り返りを行う ・暖かい部屋で雪の上での活動の楽しさや大変さを語り合う	・雪の冷たさを体感する

6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連

【体育】第3学年：体づくり運動



インドアスレチック

【関連教科等：特別活動・体育】

- 1 対象 第4学年以上
- 2 ねらい グループが互いに協力し合いながら、課題を克服することができる。
- 3 時間 90分
- 4 準備 あっばれカード、ストップウォッチ、椅子、カラーボール（3個）、筆記用具
- 5 展開

時間	活動内容	備考
10分	○やり方やルールについて理解する ・5つのゲームの説明を聞こう、チームワークが大切だよ	・スコアシートを準備する
10分	○グループに分かれて準備をする ・1つのゲームには1つのグループが準備する	
45分	○5つのゲームを、各グループでローテーションして行う ・スクラムリレー（3人が背を向けあって腕を組み、移動しながらカラーコーンを回って帰ってくる） ・関所破り（関所＝先生とジャンケンし、勝ったらあっばれカードをもらい次の人へ、負けたら次の人にバトンタッチ、あいこなら戻って再度関所とのジャンケン） ・二人二脚（二人一組となり、お互いに足を持ち合い、カラーコーンを回って帰ってくる） ・3つ玉リレー（二人一組で3つの玉を支え合いながらカラーコーンを回ってくる。一人1個の玉しか触れない） ・30秒の歌（グループで好きな歌を決め、30秒でちょうど終わるように歌う。30点満点で1秒前後したら1点マイナス）	・各ゲーム同じ制限時間とし、1回まわったら1点とする ・1ゲーム3分、練習時間2分を目安とする ・途中で休憩も入れる ・全てのゲームを回り、何点取ったかを競う
10分	○ゲームの後片付けをする ・自分たちが準備したゲームの片付けをしよう	
15分	○振り返りと表彰 ・各グループの点数を発表します ・各グループでゲームの感想を語り合いましょう	・賞状も用意する

6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連

【学級活動】 共通事項：日常生活や学習への適応及び健康安全

【体育】 第4～6学年：体づくり運動



キャンドルファイア

【関連教科等：特別活動】

- 1 対象 第4学年以上
- 2 ねらい
 - ・体育館中央のキャンドルを囲み、火の神秘性や夜の静寂を感じることができる。自然への畏敬の念をもつことができる。
 - ・ゲームや歌、踊りを通して学級の人間関係をよりよいものにすることができる。
- 3 時間 90分
- 4 準備 キャンドルを立てる燭台、トーチ、スチール皿、マッチ、放送機器、音楽CD、水、バケツ、キャンドル（大：12本、小：児童数）
- 5 展開

時間	活動内容	備考
15分	○セレモニアルファイア（迎え火のつどい） ・火の長、火の守（友情、奉仕、勇気、希望など）が入場 ・火の長より火の話があり、火の守が燭台のキャンドルに点火する	・おごそかに神秘的に行う
45分	○ボーンファイア（交歓の集い） ・歌やフォークダンスを行って楽しむ ・グループごとに出し物を行う ・全員で楽しめるゲームを行う 猛獣狩り、木とリス、おんぶジャンケン など	・楽しく、交流を深めさせる ・火の調節を忘れない
15分	○セレモニアルファイア（送り火の集い） ・ボーンファイアの振り返りをする ・「今日の日はさようなら」を歌いながら火の長らを送る ・全員で握手しながら退場する	・静かに、一日の振り返りを行わせ、明日への希望をもたせる
15分	○振り返り ・部屋に戻り、キャンドルファイアの思い出を語り合う ・しおりに記入するのもよい	・心に残ったことを語り合わせる

- 6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連

【学級活動】共通事項：日常生活や学習への適応及び健康安全



大将陣場の戦い! 勝つのはどっち!? (屋内)

【関連教科等：体育・特別活動】

- 1 対象 第3学年以上
- 2 ねらい 学年・学級の仲間と体を使ってかかわり合うことを通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとすることができる。
- 3 時間 45分～60分
- 4 準備 運動のできる服装、体操棒（ブロックマット）、マット、あれば大玉
- 5 展開

時間	活動内容	備考
5分	○赤谷の歴史について話を聞く ・戦国時代末期の天正15年（1587年）、上杉景勝が敵方の新発田重家の補給路を断つため、直江兼続らを引き連れ大挙して赤谷城攻めを行った。景勝軍は小田切三河守が守る赤谷城を一望できる小山に3日間陣を置いた ・その場所が「大将陣場」と呼ばれている	・学年により、分かりやすく説明する
5分	○大将陣場の戦いの説明を聞く ・学年・学級を上杉軍と小田切軍の2つに分ける ・体育館の両端に中央に向かい合って1列に並ぶ ・中央に置かれたマットや体操棒を自分の陣地に運び込む ・得点の多い方が勝ち	・得点例 体操棒:1点 マット:5点 大玉:10点
30分 ～ 45分	○大将陣場の戦いを行う ・両軍応援歌を歌い、審判の笛の合図で一斉にスタート ・あらかじめ決められている各陣地の線の内側まで運んだらポイント ・相手陣地に運び込まれたものは、取ることができない	・教師は、危険がないか観察
5分	○振り返り ・グループごとに感想発表する。その後、全体でも発表する	・班では全員発表する

- 6 学習指導要領、教科、学校行事等との関連

【体育】第3学年及び第4学年：体づくり運動

【学級活動】共通事項：日常の生活や学習への適応及び健康安全



すもう大会（屋内）

【関連教科等：体育・特別活動】

- 1 対象 第3学年以上
- 2 ねらい 学年・学級の仲間と体を使ってかかわり合うことを通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとすることができる。
- 3 時間 45分～60分
- 4 準備 運動のできる服装、体操棒（ブロックマット）、マット、セーフティーマット
- 5 展開

時間	活動内容	備考
5分	○すもうの説明を聞く ・はだしで、組んだ状態から始める ・男女で行う場合、体操棒やブロックマットを使い、体が触れ合わないようにする。この場合、押し相撲のみで行う	・5～10人でグループになる ・一人一試合
5分	○対戦相手を決める ・A・Bブロックに分かれてリーグ戦、トーナメント戦など、その学校の人数によって決める	・ジャンケンやくじなどで公平に決める
30分 ～45分	○すもう大会を行う ・班のメンバーが戦っている時は、応援する ・行司は教師か、試合のない班で分担する ・勝負がはっきりしない場合は取り直し ・たくさんの人と触れ合うことが大切で、勝負にこだわりすぎないようにする	・教師は、危険がないか、それぞれのマットにつく
5分	○振り返り ・グループごとに感想発表する ・その後、全体でも発表する	・班では全員発表する

6 学習指導要領、教科等との関連

【体育】第3学年及び第4学年：体づくり運動

【学級活動】共通事項：日常生活や学習への適応及び健康安全



どんづき祭りすもう（屋外）

【関連教科等：体育・特別活動】

- 1 対象 第3学年以上
- 2 ねらい 学年・学級の仲間と体を使ってかかわり合うことを通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとすることができる。
- 3 時間 30分～45分
- 4 準備 運動のできる服装、ラインカー
- 5 展開

時間	活動内容	備考
5分	○どんづき祭りすもうの説明を聞く ・グラウンドに円を描き、背中合わせで押し合い、線から出たら負け	・1対1でも、大人数でも可 ・円の大きさは人数により調整が必要
20分 ～35分	○どんづき祭りすもうを行う ・個人戦でトーナメントやリーグ戦でもできるし、団体戦でも可能	・教師は、危険がないか観察
5分	○振り返り ・グループごとに感想発表する。その後、全体でも発表する	・班では全員発表する

6 学習指導要領、教科等との関連

【体育】第3学年及び第4学年：体づくり運動

【学級活動】共通事項：日常生活や学習への適応及び健康安全



前向き合戦（屋外）

【関連教科等：体育・特別活動】

- 1 対象 第3学年以上
- 2 ねらい 学級や異なる学年の仲間と体を使ってかかわり合うことを通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとすることができる。
- 3 時間 45分～60分
- 4 準備 運動のできる服装、ラインカー
- 5 展開

時間	活動内容	備考
5分	○前向き合戦の説明を聞く <ul style="list-style-type: none"> ・2チームに分かれる ・5m以上の間隔を開けて平行線を引く。線の中央で、両チームが互い違いに腕を組んで1列になる。各チームは、自分の陣地の方を向いている ・スタートの合図で両チーム一斉にスタートし、陣地を目指す ・誰かが先にラインをふんだ方のチームが勝ち 	・平行線の間隔が長いほど、勝負がつきにくくなる
5分	○グループごとに作戦を立てる <ul style="list-style-type: none"> ・どのような並び方にとすると力が均等になるか話し合う 	・男女交互になるようにする
30分 ～45分	○前向き合戦を行う <ul style="list-style-type: none"> ・平行線の間隔を変えたり、並び方を変えたりして試合を行う 	・教師は、危険がないか観察する
5分	○振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに感想発表する。その後、全体でも発表する 	・班では全員発表する

6 学習指導要領、教科等との関連

【体育】第3学年及び第4学年：体づくり運動

【学級活動】共通事項：日常生活や学習への適応及び健康安全



押し花

【関連教科等：図工・理科】

- 1 対象 第3学年以上
- 2 ねらい 赤谷の自然環境と植物の特徴を理解するとともに創作活動ができる。
- 3 時間 90分
- 4 準備 施設周辺の植物、植物図鑑、アイロン、新聞紙、電子レンジ、タイル、木工用ボンド、台紙、ラミネーター等
- 5 展開

時間	活動内容	備考
15分	○活動の流れを理解する ・押し花の例を提示する ・活動の注意（活動範囲・ケガ等）	
30分	○植物を採取する ・花を咲かせた小さな植物を施設周辺で採取する ・採取した植物に虫や虫の卵がないか確認する	・厚みがなく水分が少ない植物が押し花に適している
30分	○平面状に乾燥させる ・新聞紙に挟んでアイロンで乾燥させる（電子レンジとタイルで乾燥させる方法もある） ○台紙に貼る ・木工用ボンドで台紙に貼る（ラミネート加工をしてもよい）	・押し花用のタイルは理科センターで貸し出し可能
15分	○お互いの作品を鑑賞する ・同じ種類の植物を見つけ出そう ・植物図鑑で植物の名前と特徴を調べよう ・友達の作品のよいところを伝えよう	

6 学習指導要領、教科等との関連

【図画工作】第3学年及び4学年：材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。

【理科】第3学年：身近な自然の観察

第4学年：季節と生物



壁飾り

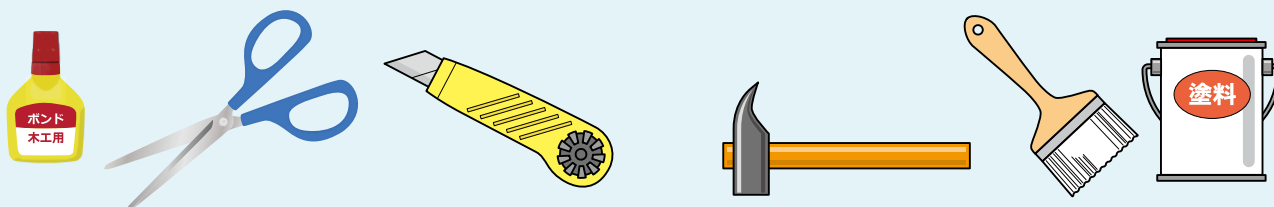
【関連教科等：図工】

- 1 対象 第4学年以上
- 2 ねらい 宿泊体験した思い出や赤谷地区の風景等を、輪切りした木に描くことができる。
- 3 時間 90分
- 4 準備 輪切りした木（1枚）、絵の具、油性マジック、紙やすり、水性ニス、はけ、ヒートン（2個）、50cmほどのひも（1本）、筆記用具
- 5 展開

時間	活動内容	備考
10分	○壁飾りに描く絵をイメージする ・今日（昨日）の活動で心に残ったものは何か ・赤谷地区の風景を見て、気に入った景色はどこか	・活動の流れを提示しておく
20分	○下書きをする ・鉛筆で思い出や風景を下書きする ・木の形や木のふしや木目なども活用できるとよい	・下書きの前に紙やすりで表面を磨く
30分	○下書きに色を塗る ・水を少なめにして塗ると色がくっきりと出る ・油性マジックで縁取りをすると仕上がりがきれいになる ○ニスを塗って仕上げる ・乾いたらニスを塗ろう。二度塗りをするとさらにきれいに仕上がる	・乾く間に10分程度の休憩をとる
15分	○ヒートンをねじ込み、ひもをつける ・ひもをつけ、吊り下げるためのヒートンをねじ込もう ・手でねじ込む際、ヒートンの間の距離を考えよう	・手では力が入らない場合、ペンチを使用
15分	○お互いの壁飾りを鑑賞し合う ・グループの人に自分の壁飾りを発表しよう ・友達の作品のよいところを伝えてあげよう	

6 学習指導要領、教科等との関連

【図画工作】第3学年及び4学年：材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。



ストーンペインティング

【関連教科等：図工・理科】

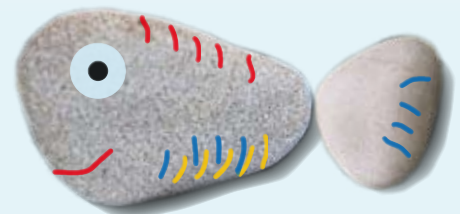
- 1 対象 第3学年以上
- 2 ねらい 赤谷の自然環境と上流の川の特徴を理解するとともに創作活動ができる。
- 3 時間 90分～120分
- 4 準備 河原で拾った石、アクリル絵の具、筆、油性マジック、新聞紙 等
- 5 展開

時間	活動内容	備考
15分	○活動の流れを理解する ・ストーンペインティングの例を提示する (石の形や石の色を活用した例・マグネット等への応用など) ・活動の注意(川の増水・ケガ・拾った石の扱い等)	
30分 ～45分	○石を拾う ・石の形や色にからつくりたいものをイメージする ・上流の川原なので大きな石や、いびつな形の石があることに気づく ・上流に赤谷鉱山があり、川原に珍しい石が見つかることがある	・滝谷森林公園管理棟に新潟県及び赤谷産の鉱物が展示されている
30分 ～45分	○下書き(場合によってはなくてもよい) ・鉛筆で下書きをする ○色塗り ・アクリル絵の具や油性マジック等で色を塗る	
15分	○お互いの作品を鑑賞する ・自分のストーンペインティングを発表しよう ・友達の作品の良い所を伝えよう	

6 学習指導要領、教科等との関連

【図画工作】第3学年及び4学年：材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。

【理科】第5学年：流水の働き



比べてみよう! 川の上流と下流

【関連教科等：理科・体育・特別活動】

- 1 対象 第3学年以上
- 2 ねらい 川の環境に関する調査活動をもとに、自分たちの身の回りの環境問題やこれからの生活について考えることができる。
- 3 時間 90分～180分
- 4 準備 水着、かかとのあるサンダル、水筒、ゴーグル、網、バケツ
- 5 展開

時間	活動内容	備考
10分	○生き物調査の説明を聞く ・魚や生き物の捕り方について理解する ・安全に調査するための川の歩き方について理解する (川の渡り方、石が滑りやすいこと等)	・4～5人グループ1つの班につき、網とバケツ1つずつ用意する
10分	○班でめあてを立てる ・生き物調査を通して、班の友だちと、より仲良くなるためのめあてを立てる	・班で活動することを確認する
55分 ～145分	○生き物調査を行う ・班で活動する。網やバケツを持つ人は交代で持つ ・水の中や、周りの風景の様子も観察する ○捕れた生き物の種類や数を確認する ・上流で集合し、生き物の種類や数を確認する ・確認後、生き物は川に返す ○スタート地点に戻る ・ライフジャケットを着けて川下りをしながら帰る	・先頭と最後尾に教師が付く ・上流に移動しながら生き物調査を行う ・ライフジャケットを着用する
15分	○振り返り ・グループごとに感想発表する。その後、全体でも発表する ・部屋に戻って、しおり等に感想を記録する	・班では全員発表する

※下流については、それぞれの学校での取組とする。

6 学習指導要領、教科等との関連

【理科】第5学年：流水の働き

【体育】第3学年及び第4学年：浮く・泳ぐ運動

【学級活動】共通事項：日常生活や学習への適応及び健康安全



比べてみよう! 私の地域と赤谷地域 (春)

【関連教科等：理科・特別活動・食育】

- 1 対象 第3学年以上
- 2 ねらい 地域の環境に関する調査活動をもとに、自分たちの身の回りの環境問題やこれからの生活について考えることができる。
- 3 時間 90分～120分（調理まで入れると半日）
- 4 準備 **【活動】** 体操着（長ソデ・長ズボン）、帽子、水筒、軍手、リュック、ビニール袋
【調理】 おしぼり、お椀、箸、おにぎり
- 5 展開

時間	活動内容	備考
10分	○地域散策の説明を聞く ・採れる山菜の種類や採り方について理解する ・安全に活動するための山の歩き方について理解する (斜面をのぼる時は草や石に手をかけない。ウルシなど触ってはいけない植物の確認等)	・4～5人グループ。1つの班につき、鎌か小刀1つずつ
10分	○班でめあてを立てる ・地域散策を通して、班が、より仲良くなるためのめあてを立てる	・班で活動することを確認する
55分 ～85分	○地域散策を行う ・班で活動する。鎌や小刀は交代で持つ ・植物の種類や回りの風景の様子も観察する ○採れた山菜の種類や数を確認する ・学校に戻り、山菜の種類や数を確認する ・採った山菜は、おみやげとして持ち帰る	・先頭と最後尾に教師が付く ・適宜山菜採りを行う ・調理をしない場合ここまで
120分	○調理をする（調理をする場合、学校ではなく河原に再集合） ・かまどの用意をする ・山菜をおひたしにする ○料理をいただく ・できた班から食事を始め、後片付けを行う ・薪は完全に燃やし、こげた石はひっくり返すなどして河原を調理する前の状態に戻す	・山菜の天ぷら、豚汁などをボランティアの方に作っていただく
15分	○振り返り ・グループごとに感想発表する。その後、全体でも発表する ・部屋に戻って、しおり等に感想を記録する	・班では全員発表する

※自分の地域については、それぞれの学校での取組とする。

6 学習指導要領、教科等との関連

【理科】 第3学年：身近な自然の観察

【学級活動】 共通事項：日常生活や学習への適応及び健康安全

【食育】 全学年：健康と食事の関連を意識し、命あるものに感謝しながら料理を楽しむ心を育てる



比べてみよう! 私の地域と赤谷地域 (秋)

【関連教科等：理科・特別活動・食育】

- 1 対象 第3学年以上
- 2 ねらい 地域の環境に関する調査活動をもとに、自分たちの身の回りの環境問題やこれからの生活について考えることができる。
- 3 時間 90分～120分（調理まで入れると半日）
- 4 準備 【活動】体操着（長ソデ・長ズボン）、帽子、水筒、軍手、リュック、ビニール袋
【調理】おしぼり、お椀、箸、おにぎり
- 5 展開

時間	活動内容	備考
10分	○地域散策の説明を聞く ・採れる山菜・きのこの種類や採り方について理解する ・安全に活動するための山の歩き方について理解する （斜面をのぼる時は草や石に手をかけない。ウルシなど触ってはいけない植物の確認等）	・4～5人グループ。1つの班につき、鎌か小刀1つずつ
10分	○班でめあてを立てる ・地域散策を通して、班がより仲良くなるためのめあてを立てる	・班で活動することを確認する
55分 ～85分	○地域散策を行う ・班で活動する。鎌や小刀は交代で持つ ・植物の種類や回りの風景の様子も観察する ○採れた山菜・きのこの種類や数を確認する ・学校に戻り、山菜の種類や数を確認する ・採った山菜・きのこは、おみやげとして持ち帰る	・先頭と最後尾に教師が付く ・適宜山菜・きのこ採りを行う ・調理をしない場合ここまで
120分	○調理をする（調理をする場合、学校ではなく河原に再集合） ・かまどの用意をする ・きのこ汁にする ○料理をいただく ・できた班から食事を始め、後片付けを行う ・薪は完全に燃やし、こげた石はひっくり返すなどして河原を調理する前の状態に戻す	・山菜の天ぷら、豚汁などをボランティアの方に作っていただく
15分	○振り返り ・グループごとに感想発表する。その後、全体でも発表する ・部屋に戻って、しおり等に感想を記録する	・班では全員発表する

※自分の地域については、それぞれの学校での取組とする。

6 学習指導要領、教科等との関連

【理科】第3学年：身近な自然の観察

【学級活動】共通事項：日常生活や学習への適応及び健康安全

【食育】全学年：健康と食事の関連を意識し、命あるものに感謝しながら料理を楽しむ心を育む



赤谷の歴史や史跡めぐり

【関連教科等：社会・総合】

- 1 対象 第6学年
- 2 ねらい 赤谷の史跡をめぐり、赤谷の歴史や会津街道の歴史を知ることができる。
- 3 時間 120分（スクールバス利用）
- 4 準備 探検バック・筆記用具・水筒・帽子・（デジカメ）
- 5 展開

時間	活動内容	備考
10分	○赤谷の歴史や会津街道の歴史について話を聞く ・赤谷の歴史をよく知る方や会津街道の歴史をよく知る方にあいさつをして、話を聞く ・持ち物や注意事項を聞く	・必要に応じて資料やノートを用意する
90分	○赤谷の歴史や会津街道の歴史の史跡めぐりをする （青少年宿泊施設→一里塚→聿修碑→龍泉寺→大将陣場→景勝清水（休憩）→赤谷御番所→会津藩戦死碑→赤谷不動堂→青少年宿泊施設）	・スクールバスを使用してめぐる
20分	○学習のまとめや振り返りをする ・赤谷の歴史をよく知る方や会津街道の歴史をよく知る方に、これまで学習して、気になったことなど質問する ・学習のまとめや振り返りをする ・振り返ったことを全体で伝え合う	

6 教科等との関連

【社会】第6学年：「日本の歴史」・全国統一への動き・幕府の政治と人々の暮らし



赤谷の郷土料理「やろもち」(野郎餅)を食べよう

【関連教科等：特別活動・家庭科】

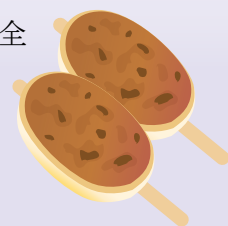
- 1 対象 第5学年
- 2 ねらい 赤谷の郷土料理を食べておいしいさを感じ、地域のよさや食の循環を知ることができる。
- 3 時間 120分
- 4 準備 1人米1合(10合=1升で20本作られる)・エプロン・三角巾・マスク
 <施設で準備> 炊飯器・くし・炭・クルミ味噌・すり鉢・米つき棒・炭場(やろもちを焼く)・消毒など
- 5 展開

時間	活動内容	備考
20分	○身支度、準備、あいさつをする ・身支度を整えて、必要な調理道具などを準備する ・赤谷地区の郷土料理を教えてください方にあいさつをする ・作り方について話を聞く	・作り始める時間に合わせて、事前に炊飯器に米をセットする
40分	○「やろもち」作りをする ①ご飯をつぶす(炊けたご飯をすり鉢に入れて、米つき棒でご飯をつぶす) ②つぶしたご飯をくしにしゃもじ状につける ③炭で焼く ④くるみ味噌をつける ⑤炭で焼く	・赤谷地区の方々と一緒に楽しく交流させる ・焼く時は大人が中心となって行う
20分	○「やろもち」を食べる	
30分	○後片付け ・くしについたご飯をとる ・準備に使った調理器具やごみの後始末をする	・水につけてからお湯で洗う
10分	○振り返りとあいさつをする ・感想や気づいたことなど振り返りをする ・振り返ったことを発表し合う ・郷土料理を教えてください方にあいさつをする	

6 教科等との関連

【学級活動】共通事項： 日常生活や学習への適応及び健康安全

【家庭】 日常の食事と調理の基礎



昔の道具をさがそう

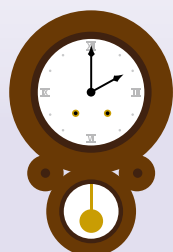
【関連教科等：社会】

- 1 対象 第3学年
- 2 ねらい 施設内の昔の道具を探し出し、観察したり使ったりすることを通して、道具の名前や使われていた時期、用途などを記録カードにまとめることができる。
- 3 時間 90分
- 4 準備 筆記用具、探検バック、施設内地図、解答用紙（記録用紙）
- 5 展開

時間	活動内容	備考
10分	○オリエンテーション ・「昔の道具探索ウォークラリー」の進め方の説明を聞く ・ウォークラリーで注意点を確認する	・スタート、ゴール地点を体育館とする。 ・ウォークラリーで回るペアや班を編成する。
60分	○「昔の道具が置かれている場所を示した地図」を基にして、施設内を探索する ・名前三択クイズを考え、カードに記入する ・使われていた時期三択クイズを考え、カードに記入する ・道具の用途三択クイズを考え、カードに記入する	・昔の道具と一緒に掲示されたクイズに答え、カードに記録する。 ・展示ルームに置かれた昔の道具は触ることができる。
20分	○振り返り ・ウォークラリーのクイズの答え合わせをする ・昔の道具を探索して気付いたことをカードにまとめる ・感想を発表する	・展示ルーム以外の昔の道具は、さわることができない。

6 学習指導要領、教科等との関連

【社会】第3学年及び第4学年：地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。



ダムのはたらきを調べよう

【関連教科等：社会】

- 1 対象 第4学年
- 2 ねらい ダムの役割を取材し、ダムの内部を見学することを通して、ダムのはたらきや仕組みをとらえることができる。
- 3 時間 100分
- 4 準備 長靴（防水用の靴）
- 5 展開

時間	活動内容	備考	
10分	○施設から内の倉ダムへバスで移動する	・堤内の階段を降りることができない児童は、エレベーターを使用する	
80分	○オリエンテーション（10分） ・ダム見学で気を付けることなどを担当の方から聞く ・トイレ休憩など		
	Aグループ ○ダムのはたらきや仕組みを取材する（15分） ○ダム堤内を見学する（40分）	Bグループ ○ダム堤内を見学する（40分） ○ダムのはたらきや仕組みを取材する（15分）	・20～25人程度のグループを2班編成する ・ダム管理の説明と見学を時間差で進める
	○振り返り（15分） ・ダムのはたらきや仕組みについて質問する ・見学メモを整理する ・トイレ休憩など	・施設内のトイレは、女子が使用し、屋外のトイレは男子が使用する	
10分	○内の倉ダムから施設へバスで移動する		

6 学習指導要領、教科等との関連

【社会】第3学年及び第4学年：地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする。



「滝谷森林公園」で新発田の自然を満喫

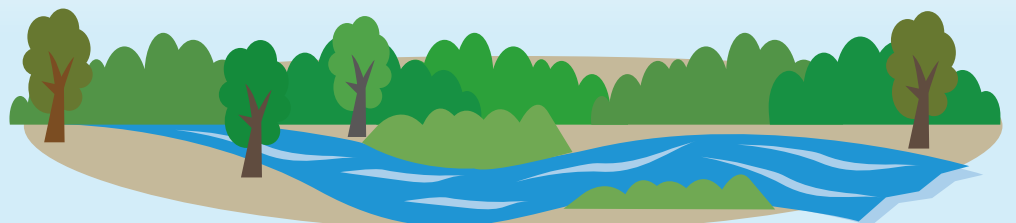
【関連教科等：特別活動】

- 1 対象 第4学年以上
- 2 ねらい
 - ・体を動かして遊んで野外活動を楽しむことができる。
 - ・安全に気を付け、友だちと協力して活動することができる。
- 3 時間 半日～1日（利用可能日4月1日～11月30日）
- 4 準備 各活動に必要なもの
 - ・野外炊さんの道具（調理道具・材料・薪等）
 - ・水遊び、魚釣り（水着、着替え、タオル、釣り具等）
- 5 展開

時間	活動内容	備考
	※施設から徒歩（オリエンテーリング、沢登り等の関連活動の実施）もしくは、バスにて滝谷森林公園へ	・事前に利用申請を行う
10分	○活動説明 <ul style="list-style-type: none"> ・施設紹介 ・活動の流れ ・注意事項 	
120～150分	○野外炊さんー昼食づくりー <ul style="list-style-type: none"> ・カレー作り ・昼食（休憩） ・片づけ 	・日程によって、野外炊さんを行わず、野外活動のみを行うことも可能
30～90分	○野外活動（レクリエーション・水遊び活動など） <ul style="list-style-type: none"> ・木製遊具を活用した遊び、レクリエーション活動 ・水量の少ないときは川原で水遊びや鉱石探し ・園内の人工の小川で水遊び ・森林浴を兼ねた散策 	・各活動については、事前に実施可能かを確認する
10分	○振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・体験を通して考えたことや気づいたことなどを発表し合う。 	
	※森林公園から徒歩もしくは、バスで施設へ戻る（学校へ帰る）。	

6 学習指導要領、教科等との関連

【学校行事】第4学年以上：遠足・集団宿泊体験的行事



「あかたにの家」周辺マップ



① 臼ヶ森
 五頭山脈の東端に位置する米倉地区のシンボル「臼ヶ森」。
 烏帽子に似た独特の山容をした臼ヶ森は、「金の臼」伝説が伝えられている山です。
 標高 238m の頂上からは日本海を眺めることができます。

② 大将陣場
 戦国時代末期の天正 15 年 (1587 年)、上杉景勝が直江兼続らを引き連れて赤谷城攻めを行いました。上杉景勝は、小田切三河守が守る赤谷城を一望できるこの小山に 3 日間、陣を置きました。

③ 内の倉ダム
 内の倉ダムは、かんがい、上水道、発電、洪水調節の 4 つの機能を持った多目的ダムです。また、豊かな自然と、二王子岳を望むことができます。
 ダムの湖畔には、広い公園もあり、秋には、鮮やかな紅葉を楽しむことができます。

④ 滝谷森林公園
 滝谷森林公園は、一度に山と川を楽しめる恵まれた自然が魅力です。森林浴や星空観察なども楽しめます。また、宿泊棟、キャンプ場テントサイト、管理棟などもあります。

「あかたにの家」青少年宿泊施設学習プログラム

編集・発行

「あかたにの家」青少年宿泊施設学習プログラム検討委員会

二葉小学校	校長	荒木一成
七葉小学校	校長	須貝育子
東豊小学校	教頭	相澤祐助
猿橋小学校	教諭	上田英司
御免町小学校	教諭	中野忠弘
五十公野小学校	教諭	金子亘
米倉小学校	教諭	山田志織
本丸中学校	教諭	星野勝紀
学校教育課	課長	澁谷一男
学校教育課	副参事	齋藤優夫

印刷

〒940-0897 新潟県長岡市新組町 4821-2-B2

株式会社 夢プロデュース

TEL 0258-84-7797 FAX 0258-94-5775

